

(株) タムラテコ

オゾンガス発生装置  
バクテクタHKⅢ  
取扱説明書

TT-1080HKS (O)

(屋外用) (軒下設置用)

お買い上げまことにありがとうございます。  
使用時には、この取扱説明書をよく読んで  
機器を正しく使用してください。保証書  
(別紙)は、必ずお買い上げ日販売店名  
などの記入を確かめてお受け取りくださ  
い。なおこの取扱説明書はいつでもご覧  
になれるところに大切に保存してください。

# はじめに

この取扱説明書は、オゾンガス発生装置 T T-1080HK S の取扱説明書です。

本書をよく読んで理解してから使用してください。

取扱中に少しでも不確かなことが生じましたら、本書により確かめて正しい方法でお使いください。

## 機器の用途

機器は日本国外での使用はしないでください。

日本国内においてのみご使用ください。

### メモ

オゾンとは.....

オゾンは、自然界の濃度は0.1～0.03ppmと少量ではあるが常に我々のそばにあり、特異な物質ではありません。

オゾンは、大気中の雷放電や紫外線による光化学反応で自然発生、生成され、大部分は、上空20～50kmの成層圏中にオゾン層として存在します。

オゾンは3個の酸素原子からなる気体分子(O<sub>3</sub>)ではありますが容易に第3原子を分離して発生期の酸素を出します。この発生期の酸素によりオゾンは強い酸化力を示します。この強い酸化力をこの機器は最良のオゾン濃度で生成させ、利用しています。

# も く じ

## はじめに

### 取扱編

- 特に注意していただきたいこと  
安全のために必ずお守りください . . . . . 3~7
- 各部のなまえとはたらき . . . . . 8
- 使いかた . . . . . 9~10
- 消耗品 . . . . . 10
- 日常の点検手入れ . . . . . 11~12
- 定期点検のおすすめ . . . . . 12
- 停電したときは . . . . . 13
- 故障・異常の見分け方と処置方法 . . . . . 13
- 部品交換のしかた . . . . . 14~16
- 仕様 . . . . . 17

### 設置編




- 特に注意していただきたいこと  
安全のために必ずお守りください . . . . . 19~20
- 開梱 . . . . . 21
- 据付け . . . . . 21~25

- 保証とアフターサービス . . . . . 26

# 編 投 取

# ■特に注意していただきたいこと。安全のために必ずお守りください。

ご使用の前にこの『特に注意していただきたいこと。安全のために必ずお守りください。』をよくお読みの上正しくお使いください。

ここに示した事項は、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を『危険』、『警告』、『注意』の3つに区分して示しています。

安全の確保のために大切な事項ですので必ず守ってください。

## 危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示めています。

## 警告


この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

## 注意


この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例




 記号は注意（警告を含む）を促す内容であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意書が描かれています。



 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解や修理・改造の禁止）が描かれています。



 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

■特に注意していただきたいこと。安全のために必ずお守りください。

## ⚠ 危険

オゾンガス運転中、入室禁止（室内にオゾンガスを噴霧する場合）

オゾンガス高濃度運転中は必ず室内が無人であることを確認し、運転停止後 2 時間以内は排気・分解処置をしないままでの入室はしないでください。

オゾンは人体に有害で健康に影響がでます。

多量に吸引すると死亡、重症を負うおそれがあります。



### 腐食危険

耐オゾン性について問題のある材料を使用した品物を機器周辺・室内等では使用しないでください。

オゾンは腐食性があり、金属・樹脂・ゴム等が腐食し、材料の性能を低下させるおそれがあり、火災や予想しない事故の原因になります。



■特に注意していただきたいこと。安全のために必ずお守りください。

**警告**

屋外にコンセントを設置する場合は、防水型コンセントを設置してください。  
(屋外用)  
コンセントが水に濡れると漏電・発火の原因になります。



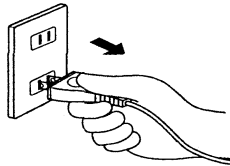
屋外での電源コードの延長は絶対行なわないでください。(屋外用)  
コンセントが水に濡れると漏電・発火の原因になります。



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントからぬいてください。



電源プラグを抜く



感電の原因になります。

絶対に分解したり、修理・改造はしないでください。



分解禁止

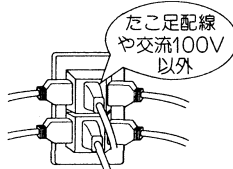
火災・感電の原因となります。

●修理は販売店にご相談ください

コンセントや配線器具の定格を超える使用かたや、交流100V以外での使用はしないでください。

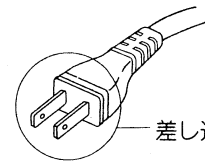


禁止



たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。



プラグにほこりなどがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

直接雨水のかかる場所への設置は、行なわないでください。(屋外設置の場合)

雨水を蹴られるような軒下等に、設置してください。

雨量が非常に多くなった場合、機器内部に水が浸入し漏電等が発生する場合があります。



床面に水が溜まる場所への設置は行なわないでください。

直接床面に設置せず、ブロック等をおいてその上に設置してください。



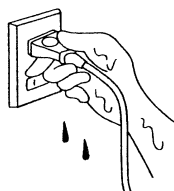
■特に注意していただきたいこと。安全のために必ずお守りください。

警告

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。



禁止



感電の原因になります。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。



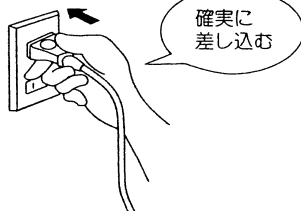
禁止

- ・傷つける・加工する
- ・熱器具に近づける
- ・無理に曲げる
- ・ねじる・引っ張る
- ・重たい物を載せる・束ねる
- ・はさみ込むなど

痛んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。


●修理は販売店にご相談ください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。



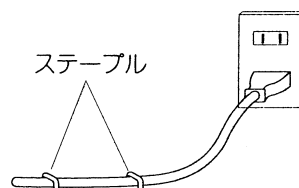
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災原因になります。

●痛んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源コードをステーブル（)などで固定しないでください。



禁止



電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

万一、使用中、強い刺激臭を感じましたら、電源プラグを抜き、販売店へご連絡ください。



体調を損なうことがあります。

接地（アース）工事は必ずおこなってください。



アース

接地（アース）工事を怠りますと、雷に対しての保護機構を備えておりますが、効果が得られなかったり、故障や漏電時に感電することがあります。

日光が直接当たる場所には、設置しないでください。機器内部の温度が上昇し故障の原因になります。



■特に注意していただきたいこと。安全のために必ずお守りください。

⚠ 注 意

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜いてください。



コードを引っ張ると、コードが破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

本体に水をかけたり、洗ったりしないでください。  
機器内部へ故意に水を入れないでください。



漏電・感電の原因になることがあります。

電源の注意

- 電源コードに無理な力を加えたり、物を載せないでください。  
また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。  
感電やショートして発火することがあります。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。  
火災や予想しない事故の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込プラグのゆるいときは使用しないでください。  
感電やショートして発火することがあります。



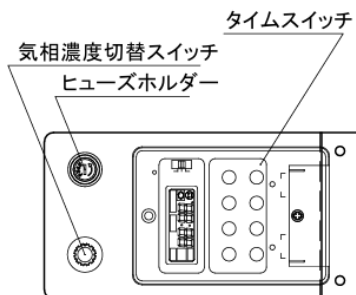
その他の注意

- 機器は金属材でしあげてあります。開口部・角等は触れたり、指を入れたりしないでください。  
けがをするおそれがあります。
- 機器は室内に設置し、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。(屋内用の場合)  
故障・ショート・発火の原因になります。
- 吸気ファン、排気口を壁等に密着させないでください。  
機器の能力が発揮できず、故障のおそれもあります。

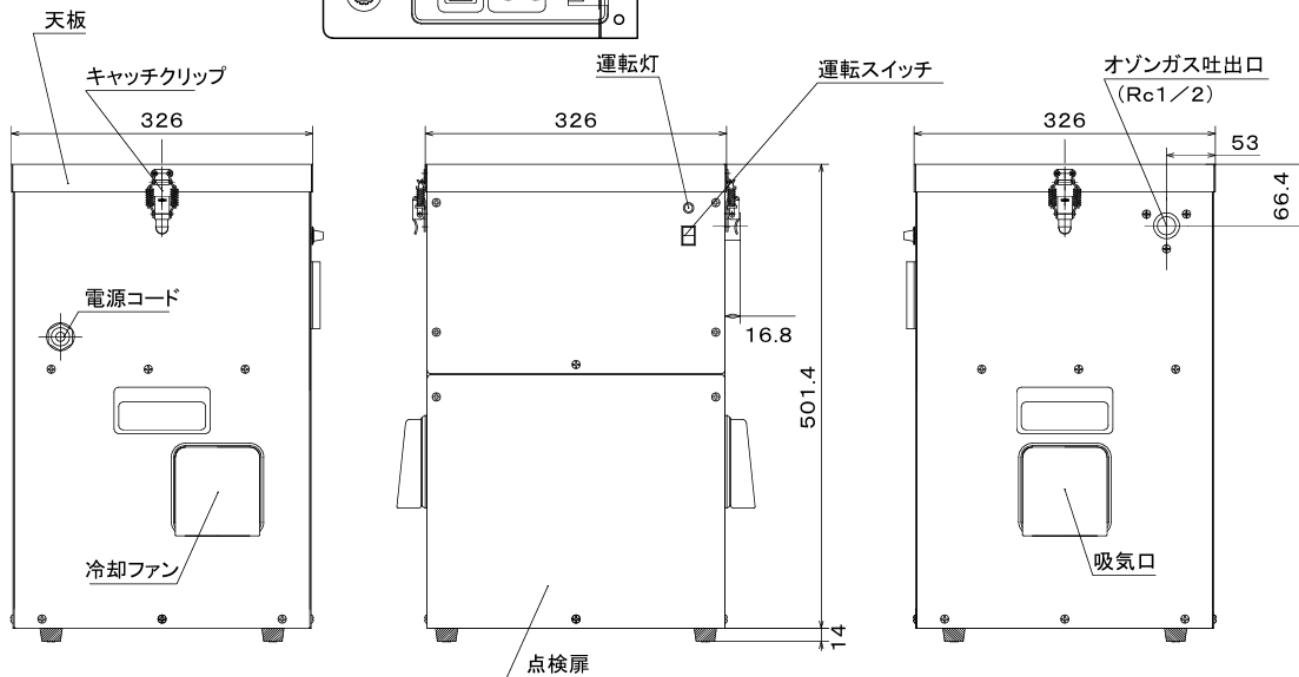


# ■各部のなまえとはたらき

## ●TT-1080HKS (O) (屋外用)



←※天板を開いた状態



## ■使いかた

### ●タイマーのセット

- (1) タイムスイッチの現在時刻をセットしてください。  
同梱“電子式タイムスイッチ”取扱説明書の【2.時計の合わせ方】をご参照ください。
- (2) ON・OFF 時刻の設定  
同梱“電子式タイムスイッチ”取扱説明書の【3.タイマーの設定】・【4.インターバルの設定】・【5.スリープの設定】をご参照ください。
- (3) 入/自動/切スイッチを「自動」にしてください。  
設定した時刻で ON・OFF します。  
連続して運転したい場合は、入/自動/切スイッチを、「入」にしてください。  
※詳細は同梱“電子式タイムスイッチ”取扱説明書の【6.入/自動/切スイッチの操作方法】をご参照ください。

### ●オゾンガス濃度の切替

オゾンガス濃度は、5段階に切替られます。  
気相濃度切替スイッチにて切り替えてください。

気相濃度切替スイッチの位置と発生量

|        | 位置 | 発生量      |
|--------|----|----------|
| 切替スイッチ | L1 | 200mg/h  |
|        | L2 | 400mg/h  |
|        | L3 | 600mg/h  |
|        | L4 | 800mg/h  |
|        | L5 | 1000mg/h |

### ●運転開始

- (1) 運転スイッチを「ON」にしてください。  
電源プラグをコンセントに差込んで（電源供給開始）10分以内の場合は、エアerpump冷却ファンの運転を開始しますが、故障ではありません10分以内に停止します。
- (2) 手動で運転する場合は、入/自動/切スイッチを、「入」にしてください。  
運転灯が点灯し運転を開始します。
- (3) タイマー運転する場合は、入/自動/切スイッチを「自動」にしてください。  
タイムスイッチが [ON] の範囲の時刻の場合、運転灯が点灯し運転を開始します。

## ■使いかた

### ●運転停止

- (1) タイマー運転をおこなっている場合は、(入/自動/切スイッチが「自動」) タイムスイッチが [OFF] 時刻になると、運転灯が消灯しオゾンガス運転を停止します。ただし、エアーポンプ・冷却ファンは運転を継続し10分後全ての運転が停止します。
- (2) 手動で運転している場合、入/自動/切スイッチを「入」から「自動」にしてください。タイムスイッチが [OFF] 時刻の範囲の場合は、運転灯が消灯しオゾンガス運転を停止します。ただし、エアーポンプ・冷却ファンは運転を継続し10分後全ての運転が停止します。
- (3) 手動・自動いずれの場合も、入/自動/切スイッチを「切」にすると運転灯が消灯し全運転を停止します。

### ■長期間使用しないとき

長期間使用しない時は、入/自動/切スイッチを [切] にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ■消耗品

### ■交換時期について

気相発生体・エアーポンプエアーの部品であるクリーナエレメント・チャンバーブロックは消耗品です。定期的に交換する必要があります。ご確認の上、お買い上げの販売店で購入取替えを依頼してください。(有料)

#### ●消耗品交換時期

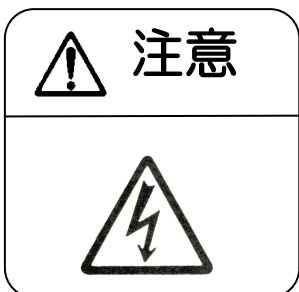
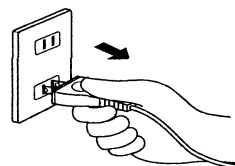
- |                      |                             |
|----------------------|-----------------------------|
| ○ 気相発生体              | 1年                          |
| ○ エアーポンプエアークリーナエレメント | 4ヶ月に一度<br>点検し汚れが<br>ひどい場合交換 |
| ○ エアーポンプチャンバーブロック    | 1年～1年半                      |

## ■日常の点検・手入れ

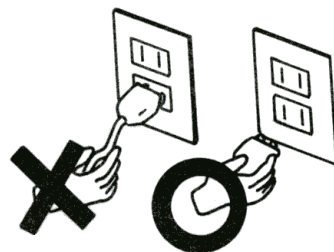
### ■点検・手入れの時の注意



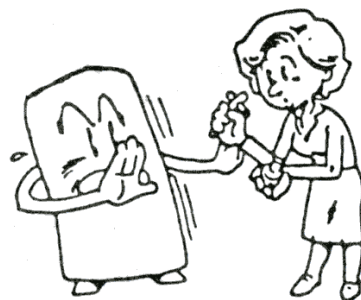
点検・手入れの際は、必ず運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電やけがのおそれがあります。



電源プラグをコンセントから抜く時は、電源コードを持たず必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。  
感電やショートして発火することがあります。



点検・手入れの際は、電気部品の分解等  
は行なわないでください。  
火災や故障・けがのおそれがあります。



機器内部へ故意に水をいれないでください。  
電気系統の故障や漏電のおそれがあります。



## ■ 日常の点検・手入れ

### ■ 点検・手入れの項目、時期・方法

| 点検項目                   | 時期(目安) | 点検・手入れの方法                                   |
|------------------------|--------|---------------------------------------------|
| 外装                     | 日常     | アルコール(ベンジン)等を柔らかい布に浸し、汚れを拭き取ってください。         |
| 吸気ファン<br>冷却ファン         | 日常     | ほこり等、汚れをからぶきしてください。                         |
| 漏電遮断器                  | 3ヶ月    | テストボタンを押し、動作を確認してください。                      |
| アース                    | 時々     | アース線が断線していないか確認してください。                      |
| オゾンガス配管の結露<br>水の排水     | 3ヶ月    | オゾンガス配管に溜まった結露水をオゾンガス配管のドレンバルブを開いて排出してください。 |
| エアーポンプエアー<br>クリーナエレメント | 4ヶ月    | 清掃しほこり等を取り除いてください。                          |
| 散気管                    | 都度     | つまっていないか確認し、つまりがある場合は、付着している汚泥を取り除いてください。   |

## ■ 定期点検

### ■ 定期点検のおすすめ

機器を最良の運転状態で末永く ご使用いただくためには、取扱説明書にしたがったお客様の正しいご使用と、専門家による定期的な保守点検が必要です。6ヶ月に一回程度お買い上げまたは、お引渡しの販売店などに定期点検依頼(有償)されることをお奨めします。

## ■停電したときは

### ■停電時

- 使用できません。
- 通電後は、そのまま使用できますが、タイムスイッチの現在時刻の設定がずれている場合があります。ずれている場合は再度設定してください。

## ■故障・異常の見分け方と処置方法

故障や異常を感じたときはご使用をやめて、次表により原因を調べて処置してください。原因のわからないときや処置のむずかしいときは、お買い上げまたは、お引渡しの販売店に語連絡ください。

■この様な現象は故障でない場合があります。もう一度確認してください。

| 症 状                            | 原 因                                          | 処 置 方 法                                                                        |
|--------------------------------|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 運転スイッチを「ON」にしても運転灯が点灯しない。      | 停電している。                                      | 停電が復帰するのを待つ。                                                                   |
|                                | 電源プラグが抜けている。                                 | 電源プラグを差し込む。                                                                    |
|                                | 漏電ブレーカが作動している。                               | 漏電ブレーカのリセットボタンを押してリセットする。再度作動する場合、漏電のおそれがあります。<br>電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。 |
|                                | ヒューズが切れている。                                  | 電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。                                                   |
| タイムスイッチがOFFの時間帯ではないですか。        | タイムスイッチがONの時間帯になるのを待つ。または、入/自動/切スイッチを「入」にする。 |                                                                                |
| タイムスイッチがOFFの時間帯であるのに運転がOFFしない。 | 入/自動/切スイッチが「ON」になっていませんか。                    | 入/自動/切スイッチを「自動」にする。                                                            |
| オゾンガス噴霧ノズルから水滴が落ちてくる。          | オゾンガス配管に結露水が溜まっているおそれがあります。                  | オゾンガス配管のドレンバルブを開いて結露水を排出してください。                                                |
| オゾン臭がしない。                      | 使用環境によりオゾン濃度が変化する場合があります。                    | 運転を停止する。                                                                       |
|                                | 気相発生体が汚れている。                                 | 交換する。                                                                          |

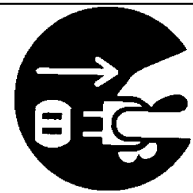
## ■部品の交換のしかた

 **注意**

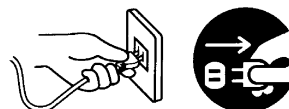


部品交換が必要なときおよび修理依頼は、お買い上げ・お引渡しの販売店または修理業者に依頼してください。電気に関する専門的知識を有している操作担当以外のお客様ご自身での部品交換および修理は危険です。

 **注意**

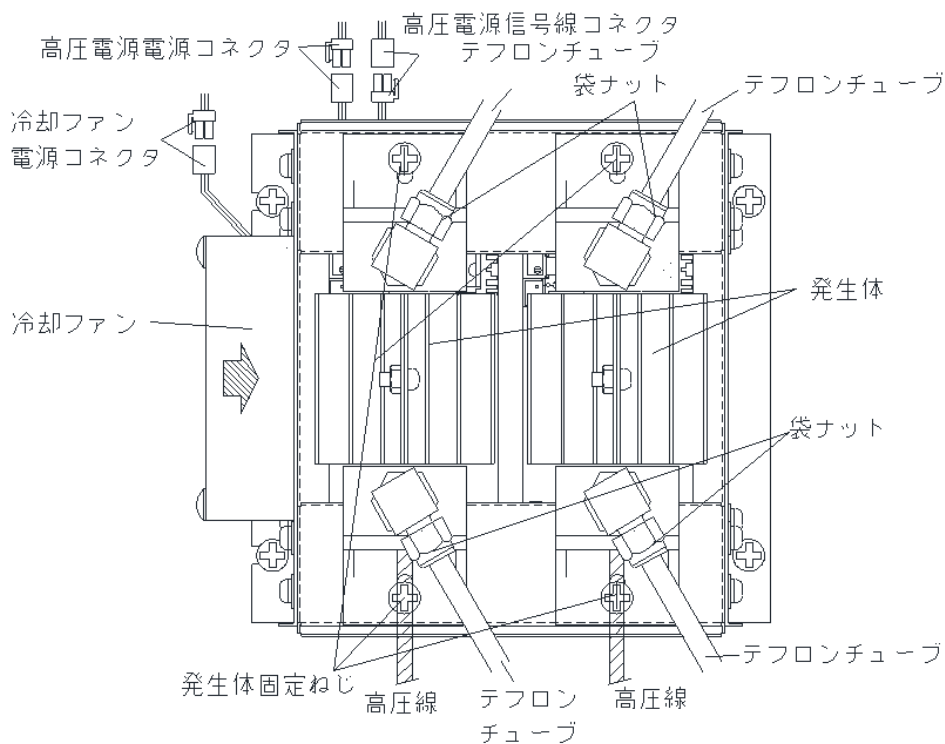


部品交換および修理は運転スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電ややけどのおそれがあります。



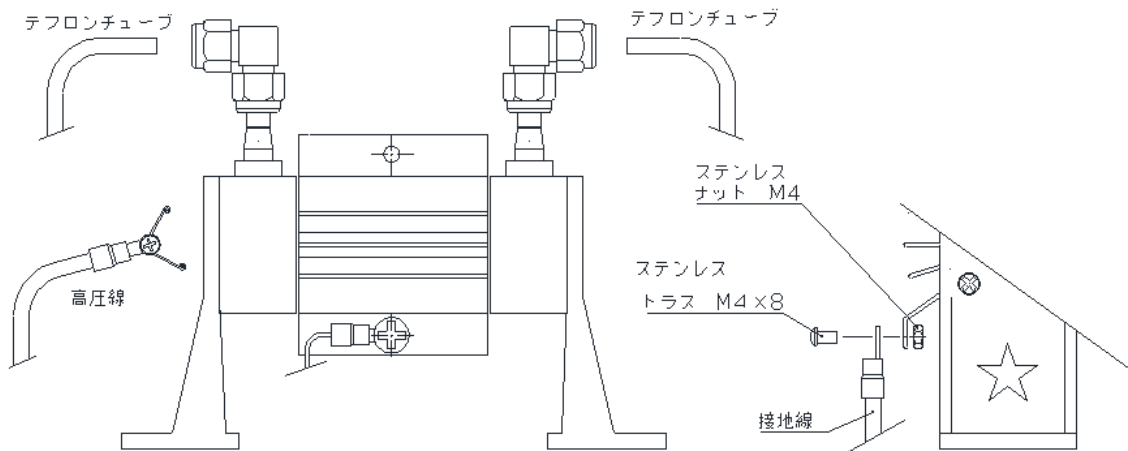
### ■気相発生体

- (1) 機器上部左右のキャッチクリップのレバーを上を持ち上げ天板を取り外してください。
- (2) 袋ナットを緩めて気相発生体組からテフロンチューブ（1g仕様・左右2本・2g仕様計4本）を取り外してください。



(2g仕様)

## ■部品の交換のしかた

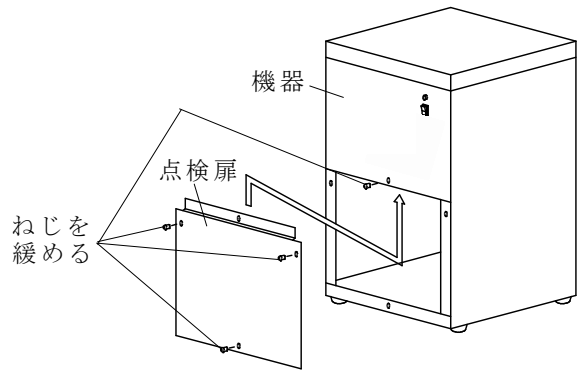


- (3) 発生体左側に入っている高圧線を抜いてください。  
手で引っ張れば外れますが固い場合は、金具をラジオペンチ等でつかみ抜いてください。
- (4) 発生体固定ねじを取り外して下さい。
- (5) 気相発生体組にねじ止めされている接地線をねじ・ナットを緩め取り外して下さい。
- (6) 新しい気相発生体を元の通り組付けてください。

# ■部品の交換のしかた

## ■エアポンプの取外し

(1) 機器前面のねじ4本を取り外し  
点検扉を取り外してください。



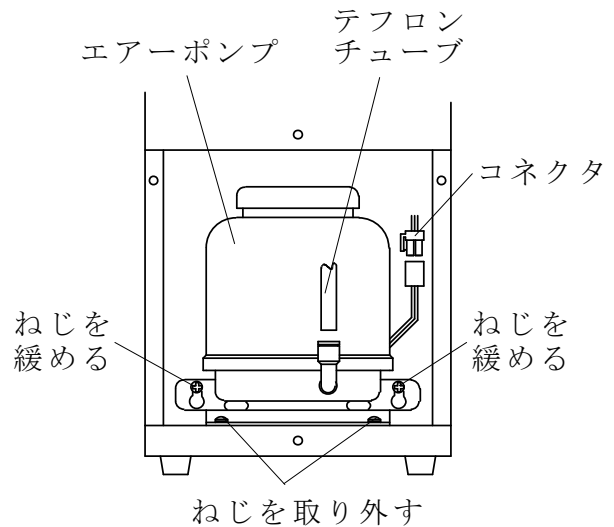
(2) エアポンプの電源線のコネクタ  
を外してください。

(3) テフロンチューブをワンタッチ継手  
から抜いてください。

(4) エアポンプ取付板を固定している  
奥後面のねじ2本を緩めてください。  
(ねじ穴は、ダルマ穴になっています)

(5) エアポンプ取付板を固定している  
前面下方のねじ2本を取り外して  
ください。

(6) エアポンプの奥側を少し持ち上げ  
エアポンプを前面に引き抜いて  
ください。



(7) エアポンプのクリーナエレメント・  
チャンバブロックの交換方法は  
同梱のエアポンプの取扱説明書  
P13~P15の交換方法を確認してください。

(8) 各部品交換後元の通りに組付けてください。

# 仕様

## 仕様

|                         |                           |                  |
|-------------------------|---------------------------|------------------|
| 型式の呼び                   | TT-1080HKS (O)            |                  |
| 区分                      | 屋外用 (軒下設置)                |                  |
| 定格電圧                    | AC100V 50HZ/60HZ          |                  |
| 消費電力                    | 135W (140W) / 105W (110W) |                  |
| 本体質量                    | 約20kg                     |                  |
| オゾンガス吐出風量               | 80l/min                   |                  |
| オゾンガス<br>発生量<br>(気相) 注1 | 切替スイッチ：L1                 | 200 (400) mg/h   |
|                         | 切替スイッチ：L2                 | 400 (800) mg/h   |
|                         | 切替スイッチ：L3                 | 600 (1200) mg/h  |
|                         | 切替スイッチ：L4                 | 800 (1600) mg/h  |
|                         | 切替スイッチ：L5                 | 1000 (2000) mg/h |
| 配管接続径                   | オゾンガス吐出口                  | Rc1/2(15A)       |
| 電流ヒューズ                  | 10A                       |                  |
| 漏電保護装置                  | 漏電遮断器作動漏洩電流：15mA          |                  |

注1：各数値は、当社測定条件によります。

使用環境によって変動する場合があります、あります

注2：()内の数値はオゾンガス発生量2g/h仕様時。

# 設置編

■特に注意していただきたいこと。安全のために必ずお守りください。

## ⚠ 危険

### 腐食危険

耐オゾン性について問題のある材料を使用した品物を  
機器周辺・室内等では使用しないでください。  
オゾンは腐食性があり、金属・樹脂・ゴム等が腐食し、  
材料の性能を低下させるおそれがあり、火災や予想し  
ない事故の原因になります。



■特に注意していただきたいこと。安全のために必ずお守りください。

## 警告

### 設置場所

- 屋内用の場合  
機器は室内に設置し、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。  
故障・ショート・発火の原因になります。
- 屋外用の場合  
機器に直接雨水が掛かる場所には設置しないでください。  
軒下等雨を避けれる場所に設置してください。
- 屋外用の場合  
直射日光が当たる場所には設置しないでください。
- 電源は必ず単相100vを使用してください。  
絶対に200vで使用しないでください。  
故障・火災・感電の原因になります。
- 接地（アース）の第三種接地工事（接地抵抗100Ω以下）  
を必ず行なってください。  
故障や漏電のときに感電のおそれがあります。
- 機器の設置面は、グリストラップの水面より高い位置を選定  
してください。水が逆流し感電や機器の故障の原因となります。



禁止



## 注意

- 床面に水が溜まるような場所は避けてください。  
水はけの良い場所に設置するか、ブロック等で床面より  
あげてください。  
火災・漏電・故障の原因になります。



## ■開 梱

### ■ 開 梱



梱包材・保護材等の処理を確実に行ってください。

- 付属品の確認
- |                 |   |
|-----------------|---|
| 取扱説明書           | 1 |
| 電子式タイムスイッチ取扱説明書 | 1 |
| エアーポンプ取扱説明書     | 1 |
| ユーザー登録カード       | 1 |

## ■据 付 け

### ■据付け場所の選定

機器を据付ける場所は水道工事、電気工事等の付帯工事の行なえる場所にしてください。また、次の各項をよく吟味してからきめてください。



- 水滴のかかる場所や、湿度の高い場所に据付けないでください。
- 直射日光の当たる場所には、据付けないでください。
- 有機溶剤、腐食性ガス、粉塵の多い場所には据付けないでください。
- 機器の吸気口や、排気口には十分な空間を設けてください。
- 密閉された部屋や、十分な換気能力のない部屋には、据付けないでください。

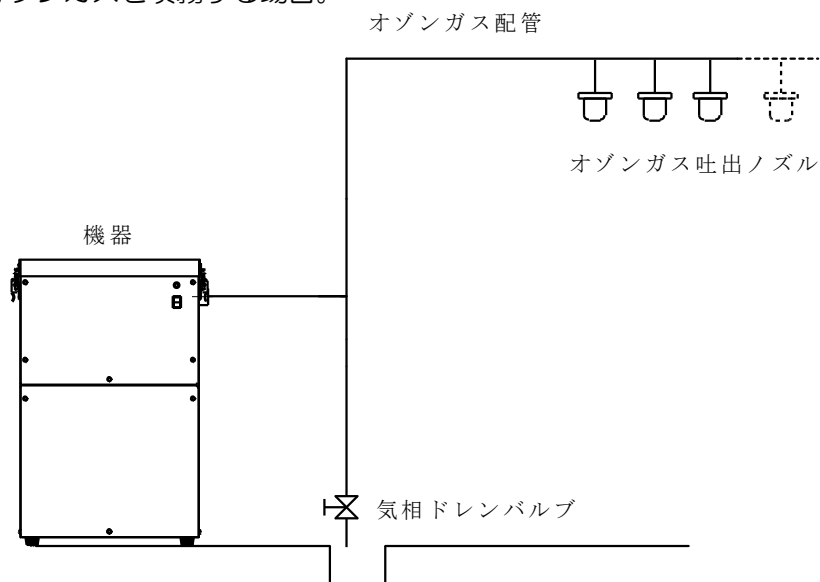
- 機器には定期的にメンテナンスが必要です、メンテナンススペースを確保できる場所に据付けてください。

|      |         |
|------|---------|
| 正面   | : 80 cm |
| 天面   | : 60 cm |
| 左右側面 | : 20 cm |
| 背面   | : 5 cm  |

# ■据付け

## ■ 標準据付け例

- 室内にオゾンガスを噴霧する場合。



- オゾンガス配管・バルブは耐オゾン性を考慮した材質（ステンレス・塩ビ HMP 等）をご使用ください。

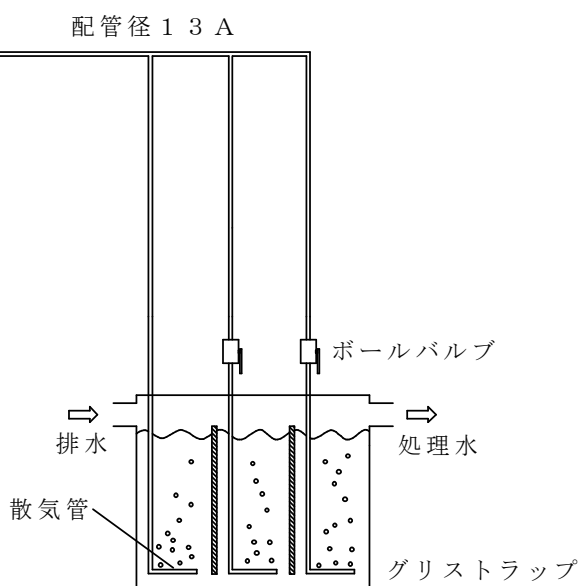
オゾンガス配管

Rc1/2（13A塩ビ管）

- オゾンガス吐出ノズルは最大10個までとしてください。

# ■据付け

## ●グリストラップの洗浄



有効処理容積500L以内

- 配管材は、HVP 塩ビ管、テフロンチューブ、SUS 管を使用してください。
- 機器から散気管までの配管は10m以内で配管してください。
- 塩ビ管を加工して散気管として使用する場合は、直径2mm×40穴程度に加工してください。  
直径2.5mm以上にはしないでください。効果が落ちます。散気管を使用する場合は、同等の積のものを使用してください。  
塩ビ管・テフロンチューブ使用時は、浮き上がらない様に重しをつけてください。

# ■据付け

## ■ 電気配線



- 電源コンセントは、雨、飛び水が当たらず、足を引っ掛けたりしない位置であること。適切な位置にコンセントがない場合は電気工事を、電力会社指定工事店に、依頼し所定の配線をしてください。

屋外用の場合防水コンセントを使用してください。  
感電したり、歩行時ひっかけたりきけんです。

### ●電 源

電源は単相 100v です。

### ●電圧変動時の注意

電圧が変動しますと、性能が低下したり、制御部が誤動作する場合がありますので、漏電遮断器の取り付けられた専用のコンセントを設けてください。

運転時電圧が 90v 未満及び 110v を超える場合は、電力会社の指定工事店に依頼し対策してください。

### ●接地（アース）工事



- 第三種接地工事（接地抵抗 100Ω以下）を必ず行なってください。

漏電時感電やけがのおそれがあります。

# ■据付け

## ■ 据付け工事後の確認

|       |                                                                                                                                              |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 機器の設置 | <ul style="list-style-type: none"><li>● 保守点検用スペースとして機器の周囲は点検・修理ができるスペースが設けられていますか。</li><li>● 吸気口・排気口周辺は十分に換気を行なえる空間スペースが設けられていますか。</li></ul> |
| 電気配線  | <ul style="list-style-type: none"><li>● コンセントは雨水がかからない位置に取り付けられていますか。</li><li>● 屋外設置の場合は、防水型コンセントになっていますか。</li><li>● アース工事はされていますか</li></ul> |

## ■保証とアフターサービス

### 修理・お取り扱い・お手入れ

などのご相談は

### まず、お買上げの販売店へ

お申し付けください。

## ■保証書

必ず、お買上げの販売店からお買上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みの後、大切に保管してください。

### 保証期間—お買上げ日から1年

ただし、ユーザー登録されたお客様にかぎります。

## ■修理を依頼される時

13ページの表に従ってご確認の後、直らない場合は、電源プラグを抜いてお買上げの販売店へご連絡ください。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

### ●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。







製造元 **株式会社 タムラテコ**